

## 野村新世界高金利通貨投信(毎月分配型) 投資対象通貨の入れ替えについて

野村新世界高金利通貨投信(毎月分配型)(以下、当ファンド)は、投資対象通貨の定期的な見直しに基づき、投資対象通貨の入れ換えを実施しました(実質的には当ファンドの主要投資対象である「ING・グローバル・カレンシーファンド」において、実施しました)。

投資対象10通貨から、スウェーデン・クローナ、ハンガリー・フォリント、ポーランド・ズロチ、メキシコ・ペソを外し、新たにニュージーランド・ドル、中国元、チリ・ペソ、南アフリカ・ランドを選定しました。

なお、投資通貨の入れ替えは、当資料作成現在、完了しています。

### 1. 投資対象通貨

《変更前》	→	《変更後》
スウェーデン・クローナ		ニュージーランド・ドル
ハンガリー・フォリント		中国元
ポーランド・ズロチ		チリ・ペソ
メキシコ・ペソ		南アフリカ・ランド
イスラエル・シェケル		イスラエル・シェケル
豪ドル		豪ドル
トルコ・リラ		トルコ・リラ
ノルウェー・クローネ		ノルウェー・クローネ
ブラジル・リアル		ブラジル・リアル
ロシア・ルーブル		ロシア・ルーブル

### 2. 入れ替えとなった投資対象通貨の状況について

次は、当ファンドの主要投資対象である「ING・グローバル・カレンシーファンド」の副投資顧問会社のアイエヌジー・アセット・マネジメントB.V.による本年9月30日時点の市場情報に基づいた投資対象通貨に対する見方です。

#### **【組入通貨】**

##### ニュージーランド・ドル

ニュージーランド準備銀行は、本年9月に市場予想を上回る0.5%の利下げを行い、政策金利を7.5%としました。しかし、ニュージーランド・ドルは、先進国の中では依然金利水準が高く、ここ数ヵ月で大幅に調整し割安感が出ていることから、為替見通しが良好であると考えています。

ニュージーランドの経済は約10年ぶりの景気後退局面にあり、本年4-6月期の国内総生産(GDP)は、前期比0.2%減(季節調整済み)となり、2四半期連続のマイナス成長となりました。高金利や燃料・食品

当資料は、当ファンドに関する参考情報の提供を目的とし野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様様に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

## 【ご参考資料】

価格の高騰が個人消費へ影響し、住宅市場や企業の景況感は悪化しました。

また、世界の金融市場の混乱が、同国内の流動性にも悪影響を与えており、特に住宅市場の調整を長引かせるなど、同国の経済にも悪影響を及ぼすと見えています。

しかし、低水準の失業率など、ファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)が力強い同国は、世界的な景気低迷から相対的に早く回復すると見えています。住宅市場は、大幅な供給過剰は見られず、長期的な見通しは4-6月期以前より改善しているほか、農産物セクターの長期的な見通しも前向きに見えています。

## 中国元

中国元は通貨バスケット方式を参考にした変動為替相場制度を採用しています。世界経済の減速は、中国にも影響を及ぼすことが予想されており、短期的には同通貨の上昇のペースは緩やかになると見えています。

しかし、同国が他の新興国に比べ相対的に高い経済成長が続くと予想されていることや、同通貨が過小評価されていることなどを背景に、同通貨は中長期的に米ドルなどの主要通貨に対して強含みで推移すると考えています。

また、大きく変動する最近の為替市場においては、相対的に堅調なファンダメンタルズを持つ同通貨は相対的に安定した推移になると見えています。

## チリ・ペソ

チリ中央銀行は、消費者物価指数が中央銀行の目標の3倍の水準まで上昇したことから9月に政策金利の翌日物貸出金利を市場の予想通りに0.5%引き上げ8.25%としました。利上げは4ヵ月連続となり、政策金利は1998年後半以来の高水準となりました。

世界景気の減速懸念が広がり、輸出の約4割を占める銅の価格が下落したことなどから、チリ経済に悪影響を与えました。

しかし銅価格の低迷にもかかわらず、同国の経済は底堅く推移しています。また、国内需要は堅調です。それらは金融市場の混乱のなかでもチリ・ペソの下支え要因になると見えています。

## 南アフリカ・ランド

南アフリカ・ランドは、ここ数年来の安値水準で取引されていることや、昨年にかけて南アフリカ中央銀行が政策金利を9.0%から段階的(2007年6月～2008年6月)に12.0%まで引き上げたことから、経済ファンダメンタルズの弱さを考慮しても、同通貨の為替見通しを良好と見えています。

同国の経済は、物価上昇を背景に個人消費が急速に減速するなど、依然として弱さが目立ちます。特に経常赤字の多くを証券投資のような短期的な資金で補っているため、金融市場において投資家のリスク回避志向が強まると、同通貨の下落要因になります。

当資料は、当ファンドに関する参考情報の提供を目的とし野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様様に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

## 【ご参考資料】

また、本年9月にムベキ大統領をはじめ10名の閣僚が辞任しましたが、政局の混迷が長期化することはないと予想しており、影響は小さいと見ています。

## 【組入対象外となった通貨】

### スウェーデン・クローナ

スウェーデン中央銀行は本年9月には政策金利を0.25%引き上げ4.75%としました。これは経済成長の減速よりも、食品価格とエネルギー価格の上昇を背景とした物価上昇が賃金上昇につながるインフレリスクに重点を置いた決定でした。

政策金利の引き上げに伴い、景気が予想以上に減速し、今後中央銀行は政策金利を大きく引き下げの必要に迫られる可能性が出てきたと見ています。(本年10月8日に0.5%引き下げ)

また、今後ユーロ圏経済も景気後退に向かっていくと見ており、輸出の大半をユーロ圏に頼っている同国の経済は減速していくと見ています。

スウェーデン・クローナは、次の金融政策で利下げの可能性が高いことや、世界的な景気の後退と原油高の影響から弱含む同国の経済指標を受けて、当面軟調に推移すると思われます。

### ハンガリー・フォリント

ハンガリー国立銀行(中央銀行)は、本年9月に政策金利を現行の8.5%に据え置きました。しかし、本年7月の平均賃金の上昇率が緩やかだったことや、中央銀行の声明文がハト派的なものであったことから、次回の政策金利は利下げされると予想されており、同通貨の下落要因になっています。

また、同国も輸出の大半をユーロ圏に依存しているため、スウェーデンと同様に同国の経済も減速すると思われ、それを受けて同通貨に対して以前よりも慎重に見ています。

### ポーランド・ズロチ

ポーランド・ズロチは、ユーロ導入を目指しユーロ圏経済との関係を深めていることから、以前に比べユーロ圏経済の景気後退の影響を受け易くなっています。その中で、スウェーデン、ハンガリーと同様にユーロ圏の景気後退を受けて、同通貨に対する見方は慎重になっています。

一方で、経常収支に改善が見られたことは同通貨にとって前向きに考えられる要因となりました。また、インフレ率は目標を大きく上回っており、中央銀行は、本年9月主要政策金利を6%に据え置きました。

しかし、ユーロ圏経済の見通しに対して以前より慎重な見方をしていることから、これまで買われていた同通貨の見通しも以前より慎重に見ています。

## 【ご参考資料】

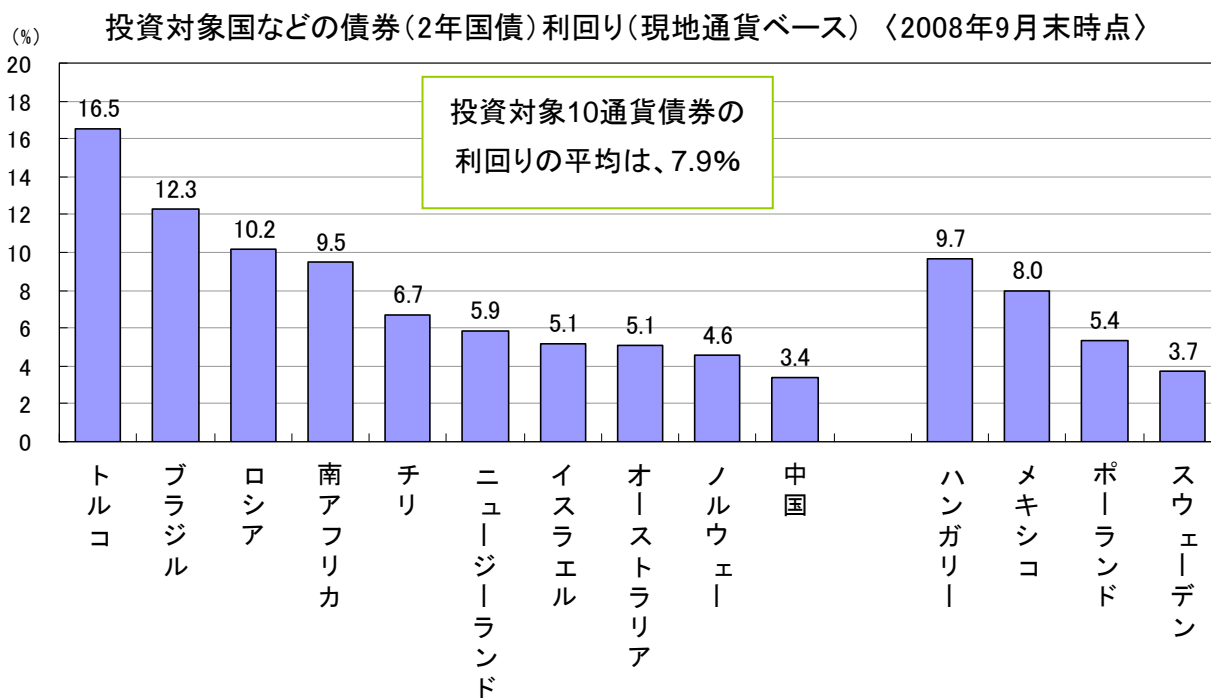
### メキシコ・ペソ

メキシコ中央銀行は、本年8月まで3ヵ月連続で利上げをしてきたことでインフレ進行には歯止めがかかりつつあると考えられます。

しかし、最近の経済指標では個人消費の低迷や雇用の悪化が示され、同国の経済成長が鈍化する可能性が高まったため、本年9月は金融引締めを休止し政策金利を据え置きました。

また、米国の景気後退を背景に同国の経済が地理的に米国の影響を受け易いことや、原油価格の下落、世界の投資家のリスク許容度の低下などがメキシコ・ペソの下落に影響すると考えられ、同通貨の見通しを以前より慎重に見ています。

## 【ご参考】



債券利回りは、ブルームバーグジェネリック2年国債利回り(ただし、ハンガリーは3年国債利回り、イスラエル、ロシア、チリ、はJPモルガン・エマーシング・ローカル・マーケット・インデックス)を使用しています。各利回りは、トルコ、ブラジル、ポーランド以外は課税前のデータです。トルコ、ブラジル、ポーランドは、源泉課税等を考慮し、目安として15%減率しています。実際の投資に際しては諸要件に応じて減率幅が変動します。上記は過去の実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。上記は実際のファンドでの運用を示すものではありません。

以上

当資料は、当ファンドに関する参考情報の提供を目的とし野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

**1. 新興国を含む世界の国の通貨建ての債券(国債、政府機関債、政府保証債、国際機関債、社債、資産担保証券等)およびコモディティ・ペーパー等の短期有価証券を実質的な主要投資対象とし、インカムゲインの獲得と中長期的な信託財産の成長を目指し運用を行いません。**

※ファンドは、円建ての外国投資信託である「ING・グローバル・カレンシー・ファンド」(英領西インド諸島ケイマン籍)と、円建ての国内籍の投資信託である「野村マネー マザーファンド」を投資対象とするファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。  
 ※アイエヌジー投信株式会社に外国投資信託受益証券の運用に関する権限を委託します。

**2. 通貨の選定にあたっては、原則として、先進国債券市場及び新興国債券市場を代表する債券市場インデックス採用国(ただし、市場規模、投資規制等の観点から一部の国を除外する場合があります。)の通貨のうち相対的に金利が高く、為替見通しが良好な10通貨\*を選定し、通貨別のエクスポージャーについては、為替予約取引等を活用し、原則として、等分とすることを基本とします。**

\*また、原則として、選定する10通貨のうち、少なくとも先進国の通貨が3通貨を占め、また、少なくとも新興国の通貨が3通貨を占めるよう選定することを基本とします。  
 なお、ファンダメンタルズ、市場規模、流動性等を考慮して、選定通貨数を10としない場合、選定する通貨のうち、先進国の通貨が2通貨以下である場合、選定する通貨のうち、新興国の通貨が2通貨以下である場合があります。選定する通貨については、原則として定期的に見直すことを基本とします。

**3. 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。**

**4. 毎月決算を行ない、原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行いません。**

ただし、当面は、3月および9月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

※ファンドの分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

[投資リスク]

ファンドは投資信託証券への投資を通じて、債券等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。

※ファンドの基準価額の主な変動要因には、この他にも、カントリーリスクなどがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 平成29年9月15日まで(平成19年11月27日設定)
- 決算および分配 年12回の決算時(原則、毎月15日。同日が休業日の場合は翌営業日)に分配方針に基づき分配  
買付申込日の翌々営業日の基準価額
- お買付価額 一般コース: 1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)  
自動けいぞく投資コース: 1万円以上1円単位  
※お取扱いコース、お買付単位は販売会社によって異なる場合があります。
- お買付単位 換金申込日の翌々営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- ご換金価額 原則、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の個別元本超過額(個人の場合、平成21年以降は譲渡益)に対して課税されます。
- 課税関係 販売会社の営業日であっても、下記の条件に該当する日には、お買付およびご換金のお申込ができません。  
○お申込日当日がニューヨークの銀行またはアムステルダム銀行もしくはシンガポールの銀行のいずれかの休業日と同日の場合。  
○お申込日の翌営業日がニューヨークの銀行またはアムステルダム銀行もしくはシンガポールの銀行のいずれかの休業日と同日の場合。
- お申込不可日

【当ファンドに係る費用】

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

◆申込手数料	お買付価額に3.15%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額を、お申込時にご負担いただきます。 ※詳しくは販売会社にご確認ください。
◆信託報酬	ファンドの純資産総額に年0.8715%(税抜年0.83%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ※ファンドの信託報酬にファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加えた <b>実質的な信託報酬率</b> は年1.0065%~1.0215%程度(税込)になります。
◆信託財産留保額	1万口につき基準価額に0.15%の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。
◆その他の費用	組入る有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、監査費用等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「費用・税金」にてご確認ください。

◆お申込みは

**野村証券**

商号:野村証券株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号  
 加入協会:日本証券業協会/(社)日本証券投資顧問業協会  
 (社)金融先物取引業協会

◆設定・運用は

**野村アセットマネジメント**

商号:野村アセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
 加入協会:(社)投資信託協会/(社)日本証券投資顧問業協会

ファンドは、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。投資信託は預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。